

令和8年

2026



©長野県アルクマ



赤羽災害伝承碑(辰野町)



船魂社のシダレザクラ(岡谷市)



蒲原沢土石流災害(小谷村)

災害伝承カレンダー

長野県建設部砂防課・長野県立歴史館・長野県治水砂防協会



水止めの石

石柱の溝に板を差し込み、
浸水を防ぐ



筑摩神社本殿



若宮八幡社本殿

水止めの石(松本市)

屋敷内に建てられた石柱で、細い溝が彫られています。二つの石柱の間に板を差し込むことで、洪水の際に屋敷内への浸水を防ぐことができる仕組みです。

この石柱は、薄川下流左岸の集落内に現在も複数箇所残っています。現在は薄川から約600メートル離れていますが、現代の護岸工事が行われる以前は、薄川の氾濫が広い範囲に及んでいたことを物語っています。

周辺には筑摩神社と若宮八幡社があります。筑摩神社は「国府八幡宮」とも呼ばれ、室町時代に建てられた本殿は松本平最大級の規模を誇り、国の重要文化財に指定されています。

若宮八幡社は、もとは松本城二の丸にありましたが、江戸時代に現在の筑摩三才に移されたと伝えられています。建築は天正年間(1573～1592年)と推定され、松本城の鎮守としての歴史を持つ建物です。

県内の主な災害(1月)

- 1963年(昭和38年) 三八豪雪(～2月)
- 1980年(昭和55年) 五六豪雪(12～3月)
- 2006年(平成18年) 〇六(一八)豪雪(12～2月)

過去の災害に
学ぶページ



長野県立
歴史館



長野県河川砂防
情報ステーション



JANUARY

28	29	30	31	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

FEBRUARY

1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28

MARCH

1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	1	2	3	4

APRIL

29	30	31	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	1	2

MAY

26	27	28	29	30	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31	1	2	3	4	5	6

JUNE

31	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	1	2	3	4

JULY

28	29	30	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	1

AUGUST

26	27	28	29	30	31	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31	1	2	3	4	5

SEPTEMBER

30	31	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	1	2	3

OCTOBER

27	28	29	30	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

NOVEMBER

1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	1	2	3	4	5

DECEMBER

29	30	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31	1	2

災害伝承カレンダー

～過去の災害に学ぶ～



蛇ぬけの碑・悲しめる乙女の像(南木曾町)

南木曾町は、これまで何度も大雨による土砂災害に見舞われてきました。1953年(昭和28年)7月20日、時間70mmの大雨により伊勢小屋沢で土石流(通称「蛇ぬけ」)が発生し、死者1名、行方不明者2名、重傷者2名を出す町史に残る大災害となりました。

この土石流から7年後の1960年(昭和35年)8月21日、再び同じ惨事を繰り返さないことを願い、「悲しめる乙女の像」が建立されました。この像は、蛇ぬけで押し流されてきた「平岩」と呼ばれる大岩の上に建てられ、岩には蛇ぬけに関することわざが碑文として刻まれ、後世への戒めと警戒の意を示しています。

「悲しめる乙女の像」は、災害から65年を経た現在も、通学路を行き交う生徒や住民に大自然の脅威を伝え、災害防止を祈る象徴となっています。

1
JANUARY

DECEMBER
30 1 2 3 4 5 6
7 8 9 10 11 12 13
14 15 16 17 18 19 20
21 22 23 24 25 26 27
28 29 30 31 1 2 3

災害伝承カレンダー

FEBRUARY
1 2 3 4 5 6 7
8 9 10 11 12 13 14
15 16 17 18 19 20 21
22 23 24 25 26 27 28

2026

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
28	29	30	31	1 元日 令和6年能登半島地震 (本震2024年)	2	3
4	5	6	7	8 三俣の大雪崩 (1918年)	9	10
11	12 成人の日	13	14	15	16	17 兵庫県南部地震 (本震1995年)
18 天正地震 (本震1586年)	19	20	21	22	23 草津白根山噴火 (本白根山2018年)	24
25	26	27	28	29	30	31



大夫千両堤(小布施町)

小布施町と須坂市の境を流れる松川は、町の南西部で千曲川に合流しますが、かつては小布施扇状地を北西に乱流し、たびたび氾濫を起こしていました。

江戸時代初期の1619年(元和5年)、この地を治めることになった戦国武将・福島正則は、検地と治水に力を注ぎ、町の南東部に「千両堤」を築いて松川の流路を現在の形に変える大規模な土木工事を行いました。その結果、洪水は大幅に減り、小布施の土地は有効に活用されるようになりました。

「千両堤」は、自然の力に逆らわない築堤方式である「信玄堤」や「霞堤」と同様の工法で造られました。この堤防は「大夫千両堤」または「福島正則公千両堤」と呼ばれ、一部は現存しており、1972年(昭和47年)に小布施町の史跡に指定されています。

県内の主な災害(2月)

- 1934年(昭和9年) 北小谷村大平雪崩災害
- 1945年(昭和20年) 飯山線森宮野原駅積雪深7.85m
- 1961年(昭和36年) 栄村青倉雪崩災害

過去の災害に
学ぶページ



長野県立
歴史館



長野県河川砂防
情報ステーション



12
DECEMBER

NOVEMBER

1 2 3 4 5 6 7
8 9 10 11 12 13 14
15 16 17 18 19 20 21
22 23 24 25 26 27 28
29 30 1 2 3 4 5

災害伝承カレンダー

JANUARY

28 29 30 31 1 2 3
4 5 6 7 8 9 10
11 12 13 14 15 16 17
18 19 20 21 22 23 24
25 26 27 28 29 30 31

2026

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
29	30	1 雪崩防災週間 (~7日)	2	3	4	5
6 小谷村蒲原沢 土石流災害 (1996年)	7	8	9	10	11	12
13	14	15 白馬村黒豆沢 土石流災害 (2023年)	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31	1	2



蒲原沢土石流災害(小谷村)

1996年(平成8年)12月6日午前10時30分頃、蒲原沢で大規模土石流が発生しました。1995年(平成7年)7月の災害からの復興を目指し、砂防・治山・橋梁工事が進められていた最中の出来事で、作業中の方々が巻き込まれ、14名が犠牲となる大惨事となりました。

災害後、調査により、標高1,300m付近の崩壊が土石流に移行し、降雨と融雪水による地下水の影響が大きかったことが判明。融雪を考慮した警戒・避難体制のあり方に大きな教訓を残した災害となりました。



県内の主な災害(12月)

1996年(平成8年) 蒲原沢土石流災害(小谷村)
2023年(令和5年) 黒豆沢土石流災害(白馬村)

過去の災害に
学ぶページ



長野県立
歴史館



長野県河川砂防
情報ステーション



2
FEBRUARY

JANUARY
28 29 30 31 1 2 3
4 5 6 7 8 9 10
11 12 13 14 15 16 17
18 19 20 21 22 23 24
25 26 27 28 29 30 31

災害伝承カレンダー

MARCH
1 2 3 4 5 6 7
8 9 10 11 12 13 14
15 16 17 18 19 20 21
22 23 24 25 26 27 28
29 30 31 1 2 3 4

2026

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1 寛文高田地震 (本震1666年)	2	3 北陸本線雪崩災害 (1945年)	4	5	6	7 東南海地震 (本震1944年)
8	9	10	11 建国記念の日 安房トンネル中の湯側 水蒸気噴火(1995年)	12 森宮野原駅 最大積雪深 (1945年)	13	14
15	16 栄村青倉雪崩 (1961年)	17	18	19	20	21
22	23 天皇誕生日	24	25	26	27	28
1	2	3	4	5	6	7



早稲田公園大時計(阿南町)

1989年(平成元年)7月下旬、早稲田地区の道路にひび割れが見つかりました。その後、8月27日・28日の台風17号、さらに9月2日・3日の秋雨前線による豪雨の影響で、連続雨量は329ミリに達しました。この降雨が引き金となり、9月3日午前8時55分、早稲田地区で大規模な地すべりが発生しました。

推定土量約70,000m³の土砂が民家の30メートル手前まで迫りましたが、発生の5分前に影響のおそれがある世帯の避難が完了しており、人命への被害を防ぐことができました。

現在、地すべりが発生した箇所は早稲田公園として整備され、大時計や東屋が設置されており、ご家族で楽しむことができます。また、桜の名所としても知られています。

県内の主な災害(3月)

1998年(平成10年) 倉下地すべり災害(白馬村)

2011年(平成23年) 長野県北部地震(栄村他)

過去の災害に
学ぶページ



長野県立
歴史館



長野県河川砂防
情報ステーション



11
NOVEMBER

OCTOBER
27 28 29 30 1 2 3
4 5 6 7 8 9 10
11 12 13 14 15 16 17
18 19 20 21 22 23 24
25 26 27 28 29 30 31

災害伝承カレンダー

DECEMBER
29 30 1 2 3 4 5
6 7 8 9 10 11 12
13 14 15 16 17 18 19
20 21 22 23 24 25 26
27 28 29 30 31 1 2

2026

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1	2	3 文化の日	4	5	6	7
8	9	10	11 大町地震 (本震1918年)	12	13	14
15	16	17	18 土木の日	19	20	21
22 長野県北西部地震 (神城断層地震) (本震2014年)	23 勤労感謝の日	24	25	26 北伊豆地震 (本震1930年)	27	28
29	30	1	2	3	4	5



妙笑寺



境内の水位標

妙笑寺 千曲川洪水水位標(長野市)

長沼地区津野の妙笑寺には、1742年(寛保2年)の「戌の満水」以降に発生した千曲川の洪水水位が記された本堂の柱が残され、それをもとに境内に水位標が建てられました。

「戌の満水」では、7月27日から8月1日の豪雨で千曲川が決壊、妙笑寺付近は地表から3.38m、赤沼地区は6.4mまで濁流にのめられました。この洪水で長沼地区は306戸が倒壊し、死者は168人に及んだといわれています。

こうした水位標は、過去の大水害の歴史と記憶を今に伝え、防災の大切さを教えてくれます。



県内の主な災害(11月)

1876年(明治9年) 北城村杓子沢雪崩災害

1918年(大正7年) 大町地震

2014年(平成26年)長野県北部地震(神城断層地震)

過去の災害に
学ぶページ



長野県立
歴史館



長野県河川砂防
情報ステーション



3
MARCH

FEBRUARY
1 2 3 4 5 6 7
8 9 10 11 12 13 14
15 16 17 18 19 20 21
22 23 24 25 26 27 28

災害伝承カレンダー

APRIL
29 30 31 1 2 3 4
5 6 7 8 9 10 11
12 13 14 15 16 17 18
19 20 21 22 23 24 25
26 27 28 29 30 1 2

2026

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1	2	3 昭和三陸地震 (本震1933年)	4 十勝沖地震 (本震1952年)	5	6	7
8	9	10	11 東北地方 太平洋沖地震 (本震2011年)	12 長野県北部地震 (本震2011年)	13	14
15	16 糸魚川市小泊 地すべり (1963年)	17	18	19	20 春分の日	21
22	23	24	25 能登半島地震 (本震2007年)	26	27	28
29	30	31	1	2	3	4



船魂社のシダレザクラ(岡谷市)

2006年(平成18年)7月19日、諏訪地方は稀にみる豪雨が長期に及び、市内の各地で土砂崩落や土石流が発生しました。小田井沢川上流で発生した土石流は一気に沢を下り、船魂社の森を直撃したあと南北に分かれ、北小路、南小路の住宅を押し潰し、7名もの尊い命が犠牲となる大災害となりました。

船魂社本殿や玉垣、鳥居、石灯籠、石碑などの石造物も押し流され、社叢も大きな被害を受けましたが、このシダレザクラは樹皮の多くを剥ぎ取られながらも、地域住民の懸命な手当てにより樹勢を取り戻し、花を咲かせ、災害復興の象徴となっています。

県内の主な災害(4月)

- 1714年(正徳4年) 小谷地震、岩戸山崩壊
- 1939年(昭和14年) 南小谷村風張山崩落
- 1973年(昭和48年) 飯綱山萩之峰地すべり

過去の災害に
学ぶページ



長野県立
歴史館



長野県河川砂防
情報ステーション



10
OCTOBER

SEPTEMBER
30 31 1 2 3 4 5
6 7 8 9 10 11 12
13 14 15 16 17 18 19
20 21 22 23 24 25 26
27 28 29 30 1 2 3

災害伝承カレンダー

NOVEMBER
1 2 3 4 5 6 7
8 9 10 11 12 13 14
15 16 17 18 19 20 21
22 23 24 25 26 27 28
29 30 1 2 3 4 5

2026

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
27	28	29	30	1	2	3 千曲川洪水 (~11日 1945年)
4	5	6	7	8	9	10
11	12 スポーツの日 令和元年東日本台風 (2019年)	13	14	15	16 平成25年台風26号 (2013年)	17
18	19	20	21	22	23 新潟県中越地震 (本震2004年)	24
25	26	27	28 御嶽山噴火 (1979年)	29	30	31



戌の満水供養塔(小諸市)

「戌の満水」と呼ばれる1742年(寛保2年)に東海から関東地方を襲った大雨により、小諸藩内では城下町を流れる中沢川が8月1日に地盤が崩れ、大規模な泥水を伴う洪水となりました。川沿いの六供・田町・本町などの城下の家屋、田畑が流され、小諸城も三之門、櫓、足柄門などが失われました。

この豪雨災害により城下では400名以上が亡くなり、復興が一段落した1754年(宝暦4年)8月1日、流死者の供養のため中沢川沿いに供養塔が建立されました。



県内の主な災害(10月)

- 1945年(昭和20年) 千曲川洪水(3日～11日)
- 1976年(昭和51年) 奈良尾地すべり(信州新町)
- 2019年(令和元年) 令和元年東日本台風災害

過去の災害に
学ぶページ



長野県立
歴史館



長野県河川砂防
情報ステーション



4
APRIL

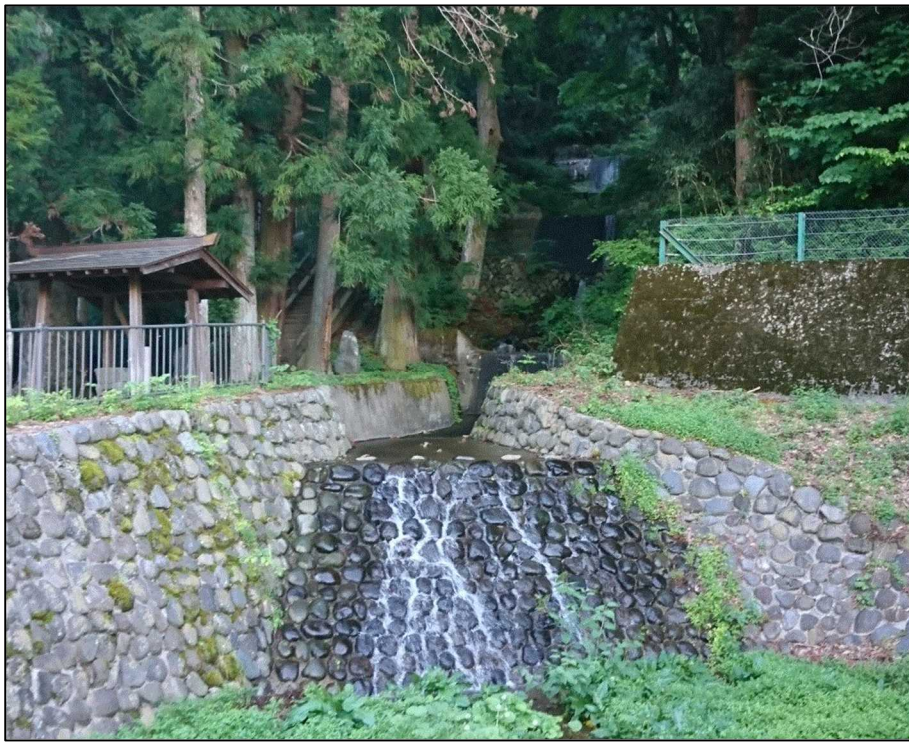
MARCH
1 2 3 4 5 6 7
8 9 10 11 12 13 14
15 16 17 18 19 20 21
22 23 24 25 26 27 28
29 30 31 1 2 3 4

災害伝承カレンダー

MAY
26 27 28 29 30 1 2
3 4 5 6 7 8 9
10 11 12 13 14 15 16
17 18 19 20 21 22 23
24 25 26 27 28 29 30
31 1 2 3 4 5 6

2026

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
29	30	31	1	2	3	4
5	6	7	8	9 飛越地震 (本震1958年)	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19 地図の日	20	21 風張山崩壊 (1939年)	22	23	24	25
26	27	28	29 昭和の日	30	1	2



池ノ沢(塩尻市)

長野県に甚大な被害をもたらした2006年(平成18年)7月豪雨によって、池ノ沢から大量の土砂や流木が沢沿いの住家、「檜川公民館 奈良井分館(当時)」等へ押し寄せ、全壊等の被害をもたらしました。

その後、公民館の跡地に土砂を貯めるための「沈砂池」や新たな水路が整備されるとともに、奈良井区の土砂災害警戒区域が示された看板が設置されました。



県内の主な災害(5月)

1847年(弘化5年) 善光寺地震

1911年(明治44年) 稗田山深層崩壊

1916年(大正5年) 木崎湖・神城竜巻災害

過去の災害に
学ぶページ



長野県立
歴史館



長野県河川砂防
情報ステーション



9
SEPTEMBER

AUGUST
26 27 28 29 30 31 1
2 3 4 5 6 7 8
9 10 11 12 13 14 15
16 17 18 19 20 21 22
23 24 25 26 27 28 29
30 31 1 2 3 4 5

災害伝承カレンダー

OCTOBER
27 28 29 30 1 2 3
4 5 6 7 8 9 10
11 12 13 14 15 16 17
18 19 20 21 22 23 24
25 26 27 28 29 30 31

2026

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
30	31	1 防災の日 関東大地震 (本震1923年)	2	3	4	5 茅野市下馬沢川 土石流災害 (2021年)
6	7	8	9 平成27年9月 関東・東北豪雨 (~11日 2015年)	10	11	12
13	14 長野県西部地震 (本震1984年)	15 カスリーン台風 (1947年)	16 第二室戸台風 (1961年)	17	18	19
20	21 敬老の日 室戸台風 (1934年)	22 国民の休日	23 秋分の日	24	25	26 伊勢湾台風 (1959年)
27 御嶽山噴火 (2014年)	28	29	30	1	2	3



畜魂碑(飯山市)

1982年(昭和57年)9月の台風18号は全国的に甚大な被害をもたらしました。この台風による豪雨で、飯山市木島地区では樽川の堤防が千曲川からの逆流で決壊し、濁流が木島地区全域を泥水に沈めました。203頭もの牛が綱を解く間もなく犠牲となり、住民は数十日後まで牛の苦しむ声を聴いて眠れぬ夜を過ごしたと伝えられています。

同年11月には牛たちを供養する大法要が営まれ、命あるものすべてにととの安住の地とすることを誓いました。

災害から1年後の1983年(昭和58年)9月13日、樽川を一望できる場所に慰霊碑が建てられ、誓いの証とともに災害を後世に語り継いでいます。

県内の主な災害(9月)

- 1959年(昭和34年) 伊勢湾台風災害
- 1984年(昭和59年) 長野県西部地震、御岳崩れ
- 2014年(平成26年) 御嶽山噴火災害
- 2021年(令和3年) 茅野市下馬沢川土石流災害

過去の災害に
学ぶページ



長野県立
歴史館



長野県河川砂防
情報ステーション



5
MAY

APRIL
29 30 31 1 2 3 4
5 6 7 8 9 10 11
12 13 14 15 16 17 18
19 20 21 22 23 24 25
26 27 28 29 30 1 2

災害伝承カレンダー

JUNE
31 1 2 3 4 5 6
7 8 9 10 11 12 13
14 15 16 17 18 19 20
21 22 23 24 25 26 27
28 29 30 1 2 3 4

2026

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
26	27	28	29	30	1	2
3 憲法記念日	4 みどりの日	5 こどもの日	6 振替休日	7	8 善光寺地震 (本震1847年)	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19 飯山市井出川 土石流災害 (2017年)	20	21 宝暦高田地震 (本震1751年)	22	23
24 31	25	26	27 善光寺地震犀川 天然ダム決壊 (1847年)	28	29	30



赤羽災害伝承碑(辰野町)

2006年(平成18年)7月15日から24日にかけて、梅雨前線により長野県を含む広い範囲で大雨となり、辰野町では24時間雨量246mm、72時間雨量403mmと観測史上最大の雨量となりました。辰野町では死者4名、負傷者7名、家屋の全壊5棟、半壊3棟、床上浸水16棟、床下浸水196棟など被害が発生し、この場所では19日朝に土砂崩れが起き、住民が救出されるなど緊迫した状況となりました。

現在は砂防堰堤が整備され、災害を伝える碑の建立や桜の植樹がされています。



県内の主な災害(6月)

- 1715年(正徳5年) 未(ひつじ)満水(洪水)
- 1915年(大正4年) 焼岳噴火、大正池形成
- 1961年(昭和36年) 三六災害(大西山崩落)

過去の災害に
学ぶページ



長野県立
歴史館



長野県河川砂防
情報ステーション



8
AUGUST

JULY						
28	29	30	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	1

災害伝承カレンダー

SEPTEMBER						
30	31	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	1	2	3

2026

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
26	27	28	29	30	31	1 千曲川戊の満水 (~2日 1742年)
2	3 松代群発地震 (~5年間 1965年)	4	5	6	7	8 稗田山崩れ (1911年)
9	10	11 山の日	12	13	14 昭和34年台風7号 (1959年)	15 岡谷市川岸東 土石流災害 (2021年)
16	17	18	19	20 広島市土砂災害 (2014年)	21	22
23 宇原川土石流災害 (1981年)	24	25	26 ハケ岳山体崩壊 (887年)	27	28	29
30 平成28年台風10号 (2018年)	31					



安政の川除け(羽毛山堤防)(東御市)

1742年(寛保2年)に発生した水害「戌の満水」をはじめ、度重なる千曲川の洪水で水田が繰り返し被害を受けたため、小諸藩主・牧野康哉は1855年(安政2年)に藩に復興方を設け、領内の治水整備や荒れ地の回復、新田開墾に力を注ぎました。

安政の川除けは1859年(安政6年)に着工し、1864年(文久4年)に竣工しました。全長約300mの芝堤防(川側を石積み、耕地側を土砂で固め芝を植える工法)は、1910年(明治43年)8月11日、戌の満水に次ぐといわれる大洪水で決壊し、4戸流出、30戸浸水、耕地の半分以上が流出する大被害を受けました。

その後、国・県の直轄復旧工事により、1910～1911年(明治43～44年)に築堤が完成し、現在も羽毛山集落と周辺農地を水害から守っています。

県内の主な災害(8月)

- 1783年(天明3年) 浅間山大噴火
- 1911年(明治44年) 稗田山崩壊(小谷村)
- 1965年(昭和40年) 松代群発地震(以後5年)
- 2021年(令和3年) 岡谷市川岸東土石流災害

過去の災害に
学ぶページ



長野県立
歴史館



長野県河川砂防
情報ステーション



6
JUNE

MAY						
26	27	28	29	30	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31	1	2	3	4	5	6

災害伝承カレンダー

JULY						
28	29	30	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	1

2026

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
31	1 土砂災害防止月間 (～30日)	2	3 測量の日 雲仙普賢岳大規模 火砕流(1991年)	4	5	6 焼岳噴火(1915年)
7	8	9	10	11	12 宮城県沖地震 (本震1978年)	13 岩手・宮城内陸地震 (本震2008年)
14	15	16 新潟地震 (本震 1964年)	17 未の満水 (～27日 1715年)	18	19	20 千曲川仁和洪水 (888年)
21	22	23 産屋沢土石流 (2011年)	24 三六災害 (～7/10 1961年)	25	26	27
28 平成30年7月豪雨 (～7/8 2018年)	29 大西山崩壊 (1961年)	30 松本地震 (本震2011年)	1	2	3	4



戸倉上山田温泉夏祭り(千曲市)

戸倉温泉は1893年(明治26年)、上山田温泉は1903年(明治36年)に開湯しましたが、千曲川の氾濫による水害に何度も見舞われました。特に1907年(明治40年)の水害では被害が大きく、温泉施設が流され、休湯が続きました。

その後、1915年(大正4年)に上山田温泉により自営の堤防が新設され、1922年(大正11年)には長野県による堤防改修工事が完成しました。

戸倉上山田温泉では毎年7月に夏祭りが行われます。この祭りは、水神の怒りを鎮め、千曲川の治水を祈り、温泉に感謝する水天宮の祭事が由来です。1928年(昭和3年)、昭和天皇の即位を記念して勇獅子が奉納されてから90年以上が過ぎ、祭りは御輿、冠着太鼓、子ども御輿山車、民踊流しなどが加わり、年々盛大になっています。

県内の主な災害(7月)

- 1985年(昭和60年) 地附山地すべり(長野市)
- 1995年(平成7年) 豪雨災害(小谷村他)
- 2006年(平成18年) 豪雨災害(岡谷市他)
- 2020年(令和2年) 豪雨災害(飯田市、長野市他)

過去の災害に
学ぶページ



長野県立
歴史館



長野県河川砂防
情報ステーション



7
JULY

JUNE													
31	1	2	3	4	5	6							
7	8	9	10	11	12	13							
14	15	16	17	18	19	20							
21	22	23	24	25	26	27							
28	29	30	1	2	3	4							

災害伝承カレンダー

AUGUST													
26	27	28	29	30	31	1							
2	3	4	5	6	7	8							
9	10	11	12	13	14	15							
16	17	18	19	20	21	22							
23	24	25	26	27	28	29							
30	31	1	2	3	4	5							

2026

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
28	29	30	1	2	3 令和2年7月豪雨 (~7/31 2020年)	4
5 九州北部豪雨 (~6日 2017年)	6	7	8	9 南木曾町土石流災害 (2014年)	10	11 長野県北部 7.11水害 (~12日 1995年)
12 北海道南西沖地震 (本震1993年)	13 平成16年7月 新潟・福島豪雨 (2004年)	14	15 長沼地震(本震1941年) 平成18年7月豪雨 (~24日 2006年)	16 新潟県中越沖地震 (本震 2007年)	17	18
19	20 海の日	21	22 信濃川決壊 横田切れ (1896年)	23	24	25
26 地附山地すべり (1985年)	27	28 新潟焼山噴火 (1974年)	29	30 平成26年8月豪雨 (~8/26 2014年)	31	1